

省エネルギー運転（エコドライブ）研修の実施

平成17年2月16日に発効した京都議定書に基づく我が国のCO2排出削減目標達成に向けて、運輸部門全体からの排出量抑制について更なる努力を要する状況にあります。

その一つの施策として政府は、省エネ法（「エネルギー使用の合理化等に関する法律」）を改正、平成18年4月から施行し、運輸分野等の省エネ対策の一層の強化が図られました。更に、2015年の「約束草案」やCOP21パリ協定等を踏まえ、2016年5月に地球温暖化対策計画を閣議決定し、2030年度の削減目標の達成に向けて着実に取り組むこととしており、運輸分野等においても、より一層の省エネの推進が求められています。

このため、公営バス事業においても、率先して省エネルギー対策に取り組むとともに、現下の厳しい経営状況に鑑み、職員に対してもコスト意識を持たせ、その効率化に対する意識改革を図ることを目的として、当該研修を平成18年度から実施しています。今年で14回目となる研修は、以下のとおり実施しました。

【研修概要】

- 1 日 時 令和元年6月6日(木) 13時～7日(金) 13時
- 2 場 所 クレフィール湖東 交通安全研修所（滋賀県東近江市）
- 3 研修日程 （別紙 「省エネ運転研修 時間割」 参照）
- 4 参加都市 東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、
高槻市、伊丹市、松江市、佐賀市、鹿児島市 計 10 都市
- 5 参加者数 25 名
- 6 参加者の感想

今回の研修のアンケートでは、いくらか参考になったという人を含め、ほとんどの受講者が参考になったと回答。また、この研修の成果を職場に報告し、何らかの形で実践していきたいと、ほとんどの人が回答されました。

なお、主な感想は以下のとおりでした。

- (1) 当局でも取り組んでいるエコ運転だが、実際に燃費計測し自分のアクセルワークを知ることができた。ちょっとした工夫で燃費を伸ばすことができた。
- (2) 実技を通して体験できたので、エコ運転の必要性を強く感じた。エコ運転により燃料がこれほど削減できるのかと驚き、大変わかりやすく学べた。
- (3) 実際に体験して個人のデータを取り、説明してもらったことでより理解することができた。
- (4) 運転姿勢の重要性も感じられた。正しい姿勢をすることや努力視界でより死角も減らすことができることがわかり良かった。
- (5) 運転するに当たり見えにくいところや制動距離の長さ等を知り、改めて自分の運転に取り入れて安全運転に心がけたいと思います。

- (6) ドラレコによる多数の事例、実際に事故の被害状況や被害者のその後、加害者のその後等々数多くの情報を詰め込んだ講義で、大きな刺激がありました。日頃自分が経験することのできない事故等について、ドラレコ映像を活用することで疑似体験ができ、自分の意識向上に大きく役立てることができました。
- (7) 客観的に重点的に解説してくれて、普段忘れてしまっていることや、マンネリ化してきている運転に対する姿勢を見直すことができました。
- (8) 見るという基本的な行動の大切さを教えていただき、単純なことから改善して行きたいと思います。
- (9) KYTの進め方について、自分の行う研修に取り入れていこうと思います。

7 研修の受講風景



省エネ運転の方法の事前説明



インストラクターによる省エネ運転の実技指導



運転時の死角の説明



省エネ運転結果の説明



しずてつジャストライン八木講師による講演



NASVA 佐藤講師による講演